がんばろう！東北

記者発表資料

平成２３年５月９日
国土交通省 東北地方整備局
玉川ダム管理所

玉川ダム融雪出水による防災操作の効果

～防災操作により約579万立方㍍を貯留～

平成２３年４月３０日の低気圧の降雨の影響に伴う融雪出水により、玉川ダムでは防災操作を行いました。
雨は３０日１５時頃から降り始め、玉川ダム流域の平均累加雨量は１０７㎜に達し
５月１日２０時４１分には、ダムへ流れ込む水の量が最大となり、１秒間に約３１４m3の水が流れ込んできました。
この時に玉川ダムでは、１秒間に約１９８m3の水を流すことで、流れ込む水の量の約５分の３を下流の川へ流しました。残りの約１１６m3の水はダムに貯留しました。
今回の洪水で玉川ダムの貯めた水の総量は、５月１日１４時～２日５時までの間で
約５７９万m3の水を貯めたことになります。
※東京ドームに入る水に換算すると、約４．７個分を貯めた事になります。
※２５ｍプールに入る水に換算すると、約１１，５８０杯分を貯めた事になります。

玉川ダムでは、昨年度（H22)に８回の防災操作を行い下流河川の増水・氾濫防止に効果を発揮してきました。
今回の防災操作は、今年度２回目の防災操作となります。

＜５月１日２０時４１分時点の防災操作＞

- 最大流入量　毎秒 約３１４立方㍍
- 最大流入時の放流量　毎秒 約１９８立方㍍
- 貯留量（調節量）　毎秒 約１１６立方㍍

※最大流入量＝ダムに入ってきた1秒間の最大の水の量
※最大流入量時の放流量＝１秒間に最大の水の量が入ってきているときのダムから流している水の量

発表記者会：秋田県政記者会

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　玉川ダム管理所
管理所長　千葉　和民（内線：201）
管理係長　山谷　正樹（内線：332）
〒014-1205　秋田県仙北市田沢湖玉川字下水無９２
TEL：0187-49-2170　／　FAX：0187-49-2166

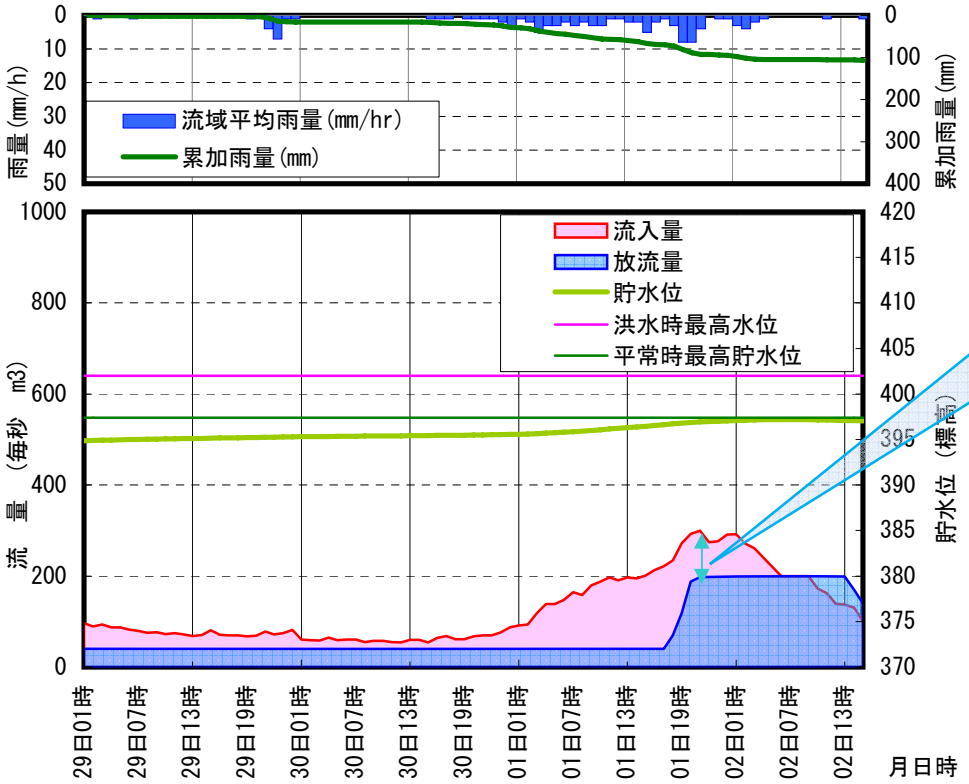
平成23年5月9日

平成23年4月30日・低気圧の降雨 による融雪出水における玉川ダムの効果

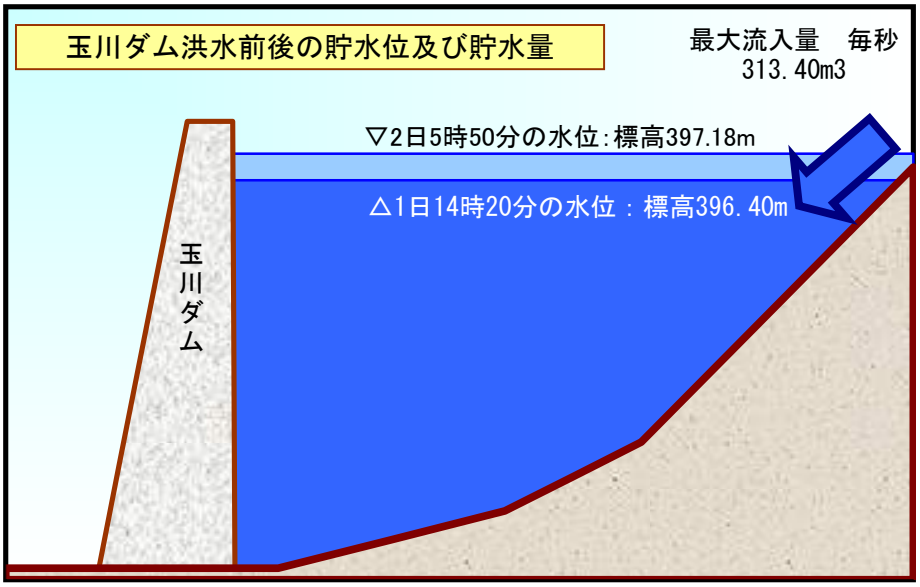
今回の洪水において、玉川ダムでは最大流入量　毎秒313.4m3(1日20時41分)を記録しました。1日14時20分には洪水流量（ダムへの流入量が毎秒200m3）に達し、洪水調節を開始。579万m3をダムに貯め込み、下流被害の軽減に努めました。



流域平均時間雨量最大
8.0mm/h（01日19時）
流域平均累加雨量
107.0mm



最大流入量　毎秒313.4m3(1日20時41分)のうち、毎秒115.76m3(37%)をダムに貯め込みました



579万m3の水をダムに貯めました

これは、
東京ドーム　約4.7個分
（124万m3）

25mプール　約11,580杯分
（約500m3）
に相当します

国土交通省　東北地方整備局　玉川ダム管理所